

2024年1月5日

石川県知事 馳 浩 様

石川県保険医協会
会長 三宅 靖

「令和6年能登半島地震」における医療確保に関する緊急要望

このたびの能登半島地震災害における被災者救援活動に深く感謝いたします。

さて、今般の能登半島地震災害による被災者の医療確保につき、下記のとおり緊急に要望いたします。

貴職におかれましては、実現にむけご尽力賜りますよう、お願いいたします。

1 被災者の受診確保のため、受診時の一部負担、保険料等の免除・軽減措置を早急に講じること。また、被保険者証の再発行にあたっては、短期証、資格証明書ではなく正規の被保険者証を交付すること。

(1) 被災者の医療確保措置については、すでに厚労省から1月1日、2日に通知が出されていますが、被災者の受診時の一部負担金や保険料については、あくまでも保険者の判断で減免できる旨を「周知」することにとどまっています。

今般の能登半島地震では、最大震度7という規模の強震により、多くの家屋の倒壊が発生しており、被災者は東日本大震災に匹敵する大きな困難を抱えています。被災者の医療費の一部負担金・入院時食事（生活）療養費の患者負担金の免除、医療保険の保険料（国民健康保険料（税）、後期高齢者医療保険料、健康保険料）の負担免除・軽減措置を早急にとる必要があります。石川県による特例措置の創設について早急に検討することを求めます。あわせて国に対して東日本大震災時に匹敵する特例措置の早急な具体化について強く要望してください。

(2) 被災者が被保険者証を紛失等した場合にも、被保険者証を提示することなく保険診療が可能なことについては、すでに1月1日に厚労省から通知が出されていますが、被災者の医療アクセスを保障するため、紛失した被保険者証の早急な再発行は不可欠と考えています。その際には、被災以前に国保の短期証や資格証明書の発行対象者であった場合でも、被災者の医療アクセスを第一に考え、正規の被保険者証を交付するよう市町に指導等をお願いいたします。

2 地域医療の復興・再建のための民間医療機関に対する公的保障の見通しを早急に示すこと。

現在、被災地では D-MAT や公的医療機関を中心に救命救急活動が続けられていること、その体制確保のために貴職におかれましてはご尽力されていることに改めて敬意を表します。

そのうえで、被災地の民間医療機関でも地域の医療ニーズに対応するために、様々な取り組みが進められていることも、重視すべきと考えます。現在、避難所で健康観察、医療的サポートにあたっている医科・歯科開業医、そして断水のなか診療を再開している民間医療機関も出てきており、すでに地域医療の再建に取り組んでいるとの報告も寄せられています。これらに鑑みて、今後地域医療を再建させるうえで民間医療機関の復興支援も不可欠と考えます。当面は人的支援・医薬品、医療材料等の供給確保に引き続きご尽力いただくとともに、民間医療機関復旧のための公的保障（公的助成や緊急融資）の見通しについて早急にお示しいただき、地域の民間医療機関に、復興・再建への力を与えてください。

<付記> 当会理事（輪島市で歯科医療機関を開業）が被災し、輪島市の避難所で避難中ですが、現在現地で求められている支援内容について、随時情報提供があります。今後の県による支援において、是非とも参考にしてください。

（別紙：輪島市役所に避難中の当会理事（歯科医師）から届いたメールをご紹介します）

— 付記 —

輪島市役所に避難中の当会理事（歯科医師）から届いた メールをご紹介します

衛生状況（トイレ整備、手指消毒用アルコールジェル等）を中心とした避難所の環境整備、避難所にいる慢性疾患を有する方の医療、避難者の全身状態管理や精神的ケアを行う医療スタッフの派遣補充など二次被害防止のための医療的支援の必要性、不安解消のためにも仮設住宅入居時期の目安などの今後の見通しをなるべく早くにお示しいたきたい旨の内容が書かれています。お目通しくださいますようお願いいたします。

2024年1月5日
石川県保険医協会

2024年

1月3日 14時46分

現在は、両親と僕の3人が輪島市役所に避難中です。

避難所（輪島市役所）については、昨日夜の時点で既に400人程避難しているようです。飲料水や非常用の食料の配布は、1月1日にペットボトルのお水が配られた以外は全くありません。皆さん、かなり空腹みたいです。幸い、僕は両親実家や自宅が徒歩数分圏内の為、家から食料を持ってきて、お近くの方に配っている状態です。

シビアなのは、トイレ事情です。災害用の携帯トイレ等の設置は無く、はっきり言って悲惨な状態に陥っています。洗浄水を流すことが出来ないのも、汚物が満杯となっています。ここは本当に悲惨です。

殆ど食べたり飲んだり出来ていない避難者の方が増えてきている状態で、体力の無い方から体調不良に陥ってきて、昨晚から救急搬送も増えてきています。

1月3日 18時

糖尿病の方や透析患者さんもいらっしゃるようで、皆さん不安が募っているみたいです。殆どの方が何も持たずに辛うじて脱出したような状況です。もちろん常備薬やお薬手帳など到底ゆっくり持ち出す余裕はありません。

1月4日 午前8時

とにかく衛生事情が深刻です。仮設トイレ、簡易トイレや水を使わなくても手指消毒可能なアルコールジェル等が必要だと思います。

それから、避難されている方の全身状態を確認出来る医療スタッフの派遣も強く要望します。震災から4日目に入り、そろそろメンタルをやられている方も出始める頃です。

自宅が全壊した方は、ライフラインが復旧しても住環境がありません。いつになれば仮設住宅に入れるのか、不安でしょう。しかし、能登の方は皆んな我慢強いです。耐えています。危険なので、二次災害防止の為、最小限のプロの人材の派遣を要望致します。朝、CNNのスタッフと話しました。「惨状を全世界に発信してくれ、地震なんかには我々は決して負けない。必ず再び立ち上がってみせる。」と伝えました。涙が溢れて、めちゃくちゃな文法でしたが、CNNの彼も力強く頷いてくれました。もう一度言います。我々は決して負けない。

1月4日午後6時

食料事情ですが、昨夜21時30分頃にレトルト食品が、本日13時30分に菓子パンとペットボトルのお水が配られました。また、本日の午後からは自衛隊による給水活動も開始されました。トイレは変わらず厳しい状態です。

個人的には、早く家のお風呂に入りたいです。実際問題、お風呂にさえ入れれば、かなり疲労も解消されるのですが。夜は椅子に座って何となくボンヤリしているだけで、1月1日から殆どまとまな睡眠は取っていません。明るくなってから夕方まではクリニックと自宅の片付けをして、夜は椅子に座って休む、という感じです。気持ちだけは強く、と思っているので持ち堪えています。長丁場になると思いますが、自分が試されていると思ひ頑張ります！

以上